

国民・議会 主権を*!* 安心安全を*!*

私たちには、 あなたの力が 必要です。

立憲民主編集部

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-12-4 ふじビル3F Tel. 03-6811-2301 Fax. 03-6811-2302 goiken@cdp-japan.net http://dcp-japan.jp



連絡先 立憲民主党埼玉県第1区総支部 〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F Tel. 048-832-3810 Fax. 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp http://takemasa-k.jp

健全な野党がなければ 民主主義は後退

立憲民主党埼玉県第1区総支部長 たけまさ 公一

今回の統一地方選挙で無投票が相次ぎました。公文書の改 ざん、統計データごまかし、大臣副大臣の辞任などと共に、 民主主義の後退を物語るのは有権者の皆様が投票の権利を行 使できないということです。



地方選挙終わる

立憲民主党がボトムアップの春として臨んだ統一地方選挙が終了しました。埼玉県議会議員選挙、さいたま市議会議員選挙などご支援をいただき、新しい県議会市議会がスタートします。更なる議会改革のうねりを期待します。

選挙戦を通じて課題も明らかになりました。それは、結党 1年半で臨んだ選挙での候補者擁立が十分でなかったことで す。このため、埼玉県議会議員選挙では無投票当選者が過去 最多となりました。また、埼玉県議会議員選挙、さいたま市 議会議員選挙では過去最低の投票率となりました。

特に、立憲、国民等野党が別れて臨んだ初の地方選挙であるだけに総括を急がなければなりません。有権者の皆様にどこまで選択肢を示せたか、候補者、政策共に、問われなければなりません。

相次ぐ閣僚ら辞任

塚田国土交通副大臣の辞任は、総理と副総理の地元を結ぶ数千億円の海底トンネル(下関北九州道路)を「総理副総理の意向を忖度(そんたく)し、今年度4000万円の調査費を計上した」との発言の責任を取ってのもの。

桜田五輪担当大臣の辞任は、「東日本大震災の復興よりも 自民党議員の応援が大事」との発言の責任を取ってのもの。

いずれも政府の閣僚らによる権力のおごりによる発言です。 森友加計学園の「公文書改ざん」、そして、「過去最高の賃 金の伸び」とは真っ赤なウソであった「統計データ改ざん」 に続くものと言えます。

成長率の下方修正 アベノミクスの対案提示

G20財務大臣中央銀行総裁会議、ならびにIMF会合がワシントンで開催され日本の今年の経済成長率が下方修正されました。世界経済も同様です。米中貿易摩擦、イギリスのEU離脱などの先行き不透明がその理由とされています。

6月には、日本でG20首脳会議が開催されます。日本は議 長国として世界経済の減速に、歯止めをかけるためのメッセージを出さなくてはなりません。

そのためには、国内の経済財政金融政策の議論が欠かせません。いわゆるアベノミクスの対案を立憲民主党など野党が 提示することです。

アベノミクスは、3本の矢(財政出動、構造改革。金融緩和)と言われながら、実際はマイナス金利など異次元の金融緩和1本の矢に頼っています。その、金融緩和も出口戦略の遅れから間もなく日本銀行が日本最大の株主となります。日本銀行保有の株価が15%下がると簿価を割り込み赤字に転落します。それが、ハイパー(超)インフレのきっかけになる危険性があります。「国債は日本人が保有しているから大丈夫」との話はもはや幻想です。毎日の国債の売買の6割から7割は外国人投資家になっていると言われるからです。

マイナス金利とは国民の得るべき利子が、大企業を中心に 移転していることです。また、この20年間、G7先進国で唯 一実質賃金がほぼ低下しているのも日本だけです。これでは 消費は喚起されません。

安心安全がキーワード

国全体で消費を伸ばすにはキーワード「安心、安全」が欠かせません。医療介護年金子ども子育ての充実はその一つです。社会保障の充実がなければ財布のひもは緩みません。家庭介護でご苦労されている皆さんの悲痛な声がまだ聴かれます。

また、さいたま市民意識調査今後の整備で第1位は「安全 に通れる道路が多い」です。埼玉県の昨年自転車事故死亡者 数は全国ワースト1位。これまた「安全」です。

災害対策では、さいたま市内の指定避難所当たりの対象地 区人数の偏在、並びに県有施設の未活用、私学や大学が指定 避難所から漏れていること等が指摘されます。

働き世代のスキルアップと評価向上を

4月から外国人の受け入れが新たに34万人拡大されました。 コミュニケーションの基本である日本語能力の向上のため、 引き続き海外における日本語教育の充実に努める必要があり ます。

一方、引きこもり調査では40歳から64歳までの引きこもりは約61万人。39歳以下より多いのです。39歳以下は自治体など行政が対応していますが40歳以上は未対応。その対応を進める必要があります。

また、働き世代のスキルアップのためのデュアルシステム、 リカレント教育の充実、小学校から将来どんな職業に就くの かを考える職業教育の充実、そのための専門家(ガイダンス カウンセラーの育成)などが欠かせません。

そして、働く世代に対する評価を高め、ふさわしい給与を 保証する必要があります。

消費増税に待ったを 待機児童をゼロに その両立

G20では世界経済減速に待ったをかけることが合意され、 10月からの消費増税に待ったがかかる可能性があります。か ねてより、立憲民主党はじめ野党の主張でもあります。

ただし、政府与党は就学前の無償化の財源をどうするので しょうか?私は、まずは待機児童ゼロのための保育所などの 充実に重きを置くべきではないかと考えます。

否決はされましたが、無償化法案が衆議院で強行採決され た折に立憲民主党が提出をした内容です。

武正公 1961年生まれの現在58歳。いわゆる普通のサラリーマン家庭育ち。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大学法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選、以後6期務め外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。2017年に議席を失うが「国民主権」の理想を掲げ捲土重来を期す。

立憲民主党 埼玉県第1区所属議員



感動県政 感動浦和 浅野目 義英 あさのめ よしひで ■浦和区県議



えがおの埼玉 井上 將勝 いのうえ まさかつ ■見沼区県議 1979年4月21日生まれ

1958年5月27日生まれ



暮らしと市政をつなぐ 添野 ふみ子 そえの ふみこ ■浦和区市議



為せば、為る。 三神 尊志 みかみ たかし

■見沼区市議 1980年12月25日生まれ

1948年4月14生まれ



仕事キッチリ!福祉しつかり!防災がつちり! 武田 和浩 たけだ かずひろ

■見沼区市議 1961年1月24日生まれ



岩槻新教育時代の幕を開ける 高野 秀樹 たかの ひでき ■ 岩槻図本議

■岩槻区市議 1960年9月29日生まれ



想いをつなぐ!子どもたちと地域の未来を国政に!

くまがい 裕人 くまがい ひろと

■埼玉県参議院選挙区第1総支部長 1962年3月23日生まれ

■立憲民主党埼玉県第1区イベント情報

第190回 たけまさ公一と語る会

2019年5月25日 (土) 午後2時~4時 浦和パルコ10階 浦和コミセン第7集会室 参加費 無料 どなたでも ご参加頂けます。

立憲1区カフェ

2019年6月1日(土) 午後4時~6時 カルタスホール

■全てのお問い合わせ先



立憲民主党埼玉県第1区総支部(たけまさ公一事務所)

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F Tel. 048-832-3810 Fax. 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp http://takemasa-k.jp









facebook